

このようなときに やけど事故が 起きています

STOP!

電気ポットが転倒し、お湯がこぼれる



子供がよろけて、
電気ポットにぶつかり
倒した。(3歳)

子供が電気ポットに
つかまり立ちをして倒した。
(1歳2か月)



コードに足をひっかけて
電気ポットを倒した。
(0歳11か月)

和室のちゃぶ台の上に置いて
あった電気ポットを転倒させた。
(0歳11か月)



沸騰中の蒸気に触れる

沸騰中で蒸気口から出ている湯気を見て、好奇心に駆られた子供が
蒸気口を手のひらで触った。(2歳)

給湯操作をしてお湯を出す

給湯後の電気ポットで給湯ロックが
かかる前に、給湯ボタンを押して、
お湯が子供にかかった。(2歳)



やけどを してしまったら...

やけどの応急処置

① 流水等で冷やす

患部に触らないように、直接または服の上から流水等で冷やします。
広範囲の場合、水でぬらしたシーツなどで覆います。ただし、乳幼児の場合、低体温からショック症状を起こすため(体温が32度以下)、冷やし過ぎないように気をつけます。



② やけどの状態を見て、対応を判断する

乳児の場合、身体の表面積の10%以上のやけどで生命が危険な状態になるので、すぐに救急車を呼びましょう。また、やけどの範囲が狭くても次のようなときは、患部を冷やしながら医療機関を受診しましょう。

- ・顔や頭、指の関節などのやけど
⇒ ひきつれやケロイド、動き制限など後遺症の原因となります。
- ・水ぶくれができたり、皮膚がジクジクしている
⇒ 感染症の原因となります。

③ 患部を保護する

清潔なガーゼやシーツ等で覆って、医療機関を受診します。乳幼児は感染の危険があるため、狭い範囲のII度のやけどでも受診しましょう。痛みが取れて赤くなった程度であれば、流水で冷やしてガーゼで覆い、様子を見ましょう。



(参考) 詳細) 東京都福祉保健局「乳幼児の事故防止教育ハンドブック」
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/smph/kodomo/shussan/nyuyuji/jiko_kyouiku.html

事故に関する情報提供を!

事故の再発防止や製品の安全性向上のため、事故の情報や危険を感じた情報などを消費生活相談窓口や製造事業者等に情報提供をお願いします。

● 東京都消費生活総合センター
相談専用電話 ☎ 03-3235-1155

● 消費者ホットライン ☎ 188(いやや!)

消費者ホットラインは、全国共通の電話番号で、地方公共団体が設置している身近な消費生活相談窓口につながります。

お問い合わせ先

東京都生活文化局消費生活部生活安全課

☎ 03-5388-3082

東京都商品等安全対策協議会についてはこちら

https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/kyougikai/h30/30-01_contents.html

平成30年度
登録(30)69 無断転載を禁じます。

リサイクル適性(A)

R70
古紙配合率70%再生紙を使用しています

電気ポットによる 子供のやけどに 注意!



(一社)日本電機工業会、電気製品認証協議会、大手家電流通協会、(公社)全国消費生活相談員協会、
(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会、
NPO法人子育てひろば全国連絡協議会、(特非)キッズデザイン協議会、
(国研)産業技術総合研究所、(独)国民生活センター、(独)製品評価技術基盤機構、
経済産業省、消費者庁、東京消防庁、東京都生活文化局

東京都

! 子供のやけどの危険性

子供は、大人よりも皮膚が薄く、身体の表面積も小さいため、やけどを負った場合の危険性が高まります。乳児の場合、身体の表面積の10%以上のやけど*で生命が危険な状態になり、脱水や熱傷ショックを起こすこともあります。

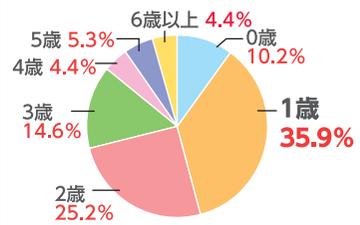
*表面積の目安は、子供の手のひらが1%、片腕や片足がそれぞれ10%、頭(顔を含む)は20%となります。
(参考)東京都福祉保健局「乳幼児の事故防止教育ハンドブック」

STOP! 電気ポットによる事故、ヒヤリ・ハット経験の分析

事故、ヒヤリ・ハット経験があった年齢

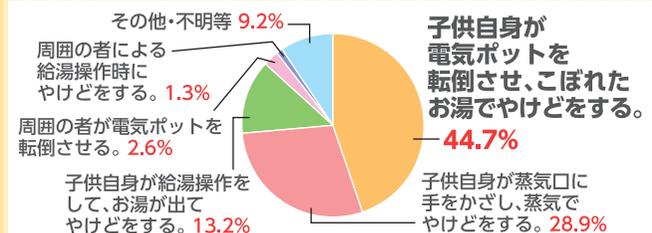
2歳以下、なかでも1歳0か月から1歳6か月の頃に多い傾向がみられます。

*平成30年度東京都商品等安全対策協議会アンケート調査結果

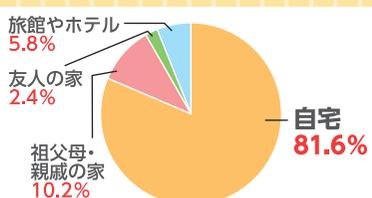


事故状況

「電気ポットの転倒」の割合が大きく、転倒してお湯が流出することで重度のやけどにつながるリスクがあります。また、蒸気に触れたり、給湯操作をしてお湯を出してしまい、やけどに至るケースも見られます。



自宅での事故やヒヤリ・ハット経験が多いですが、旅行先や親戚宅でもありました。



! 子供を電気ポットによる事故から守るために

電気ポットはボタンがあったり、蒸気が出たり、音が鳴ったりするため、子供の興味をひくことがあります。

小さい子供がいる家庭では、安全に配慮した電気ポットを選んだり、子供の手が届かないところに置くなど生活環境を見直しましょう!

! 安全に配慮した電気ポットを選ぶポイント

転倒しても熱湯がこぼれにくい「転倒流水防止構造」、沸騰しても蒸気が出ない・量を抑える「蒸気レス・セーブ機能」、給湯時にコードが不要な「コードレスタイプ」など、安全に配慮されたものが販売されています。特に、転倒流水防止試験などの安全基準に合格している電気ポットにはSマークがついています。安全に配慮された製品には、キッズデザイン賞を受賞したものがああります。商品選択時の参考にしましょう。



蒸気レスタイプ コードレスタイプ



Sマーク

Sマークは、電気用品安全法で定める技術基準やJIS等の安全基準を満たしているものとして、第三者認証機関により認証された製品に表示することができる。(電気製品認証協議会)



キッズデザインマーク

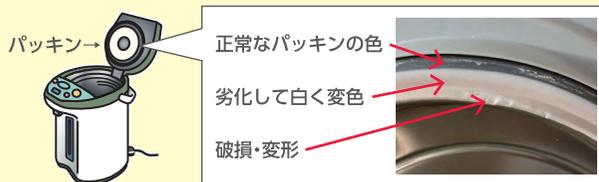
キッズデザイン賞は子供の安心・安全と健やかな成長発達に役立つ優れた製品等を顕彰する制度。受賞作品は「キッズデザインマーク」を付けることができる。(キッズデザイン協議会)

! 電気ポットの点検と内蓋パッキンの交換

内蓋パッキンの経年劣化により転倒時のお湯漏れのリスクが高まります。取扱説明書に従い、年に1度は点検し、パッキンが白く変色していたり、変形・破損がみられる場合には、交換しましょう。

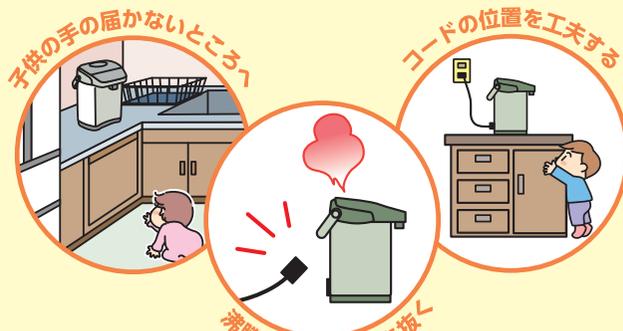


パッキンの交換により、蒸気漏れによる蓋など機体の損傷や保温性能の低下を防ぐなどの効果もあります。



! 電気ポットの置き場所

子供が小さいうちは居室に置かず、子供の手が届かない台所の調理スペースや棚・ラックに置きましょう。やむを得ず居室に置く場合は、置き場所やコードの配置を工夫し、沸騰後はコードを外すなど注意しましょう。特に沸騰時や沸騰直後は、蒸気が出たり、転倒時のお湯漏れのリスクも高まりますので、注意しましょう。



! 自宅以外での注意

親戚宅へ遊びに行った際や旅行先で、電気ポットが子供の目に触れるところにあるときは、事故の危険に注意しましょう。



使い終わった電気ポットは引っ掛からないようにコードをはずし、子供が触れない位置に移動させましょう。